

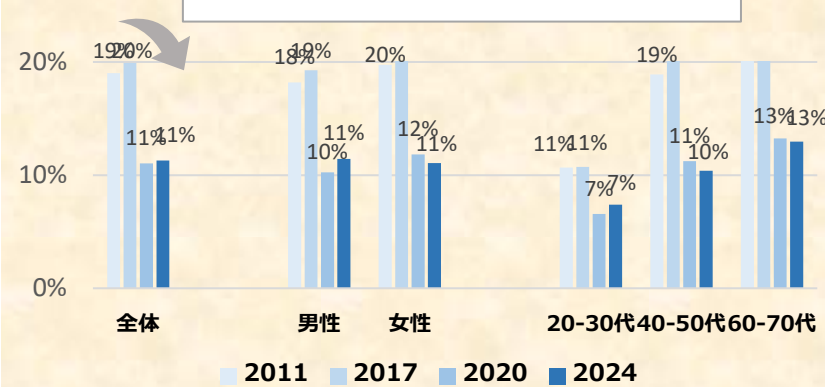
自治体による広報活動の認知度

● 肝炎ウイルス検査の普及啓発、肝炎対策について、地方自治体では以下の取組が行われています。あなたご存知のものをお答えください。

① 地方自治体の広報誌での情報提供

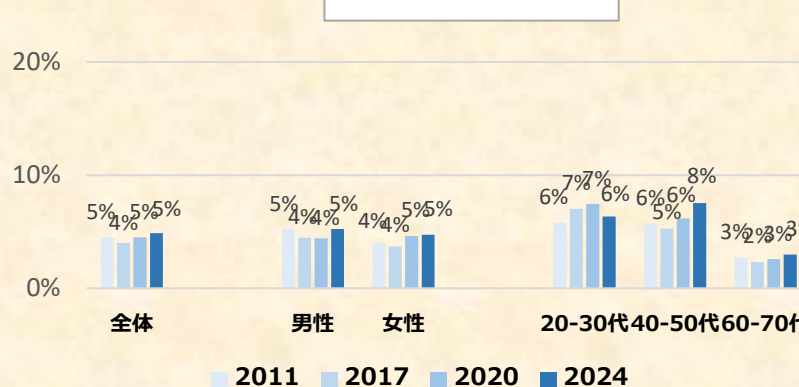
肝炎ウイルス検査(費用や検査場所)に関する情報

■ 認知度は2割→1割



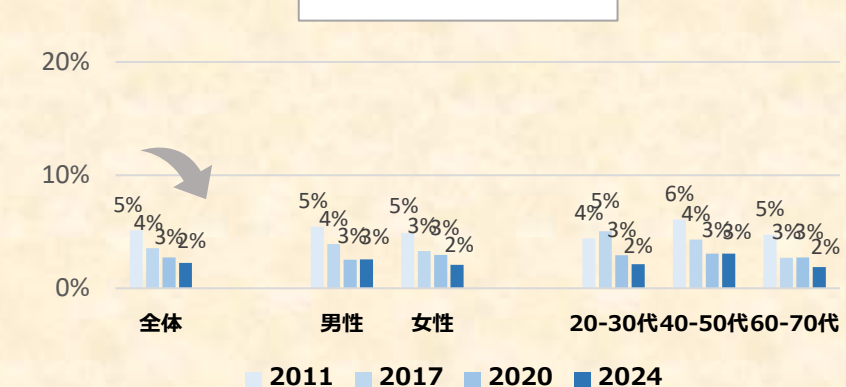
② インターネットホームページでの情報提供

■ 5%程度



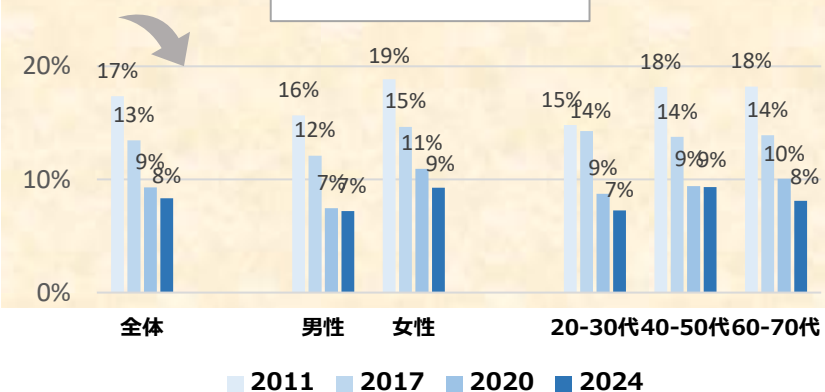
③ チラシ、ポスター等の職場への配布

■ 5%→2%



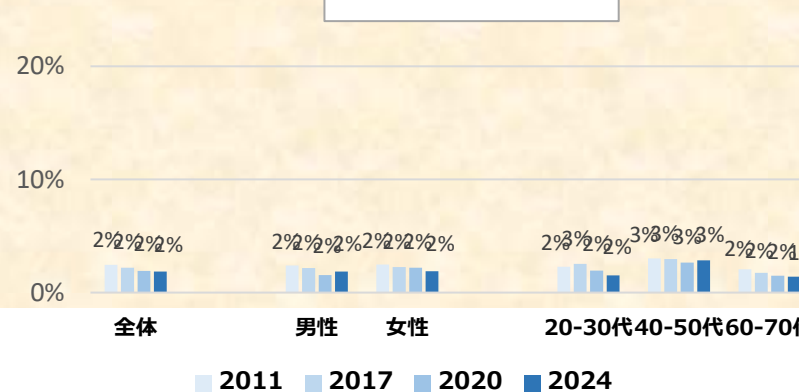
④ チラシ、ポスター等の医療機関への配布

■ 2割→1割



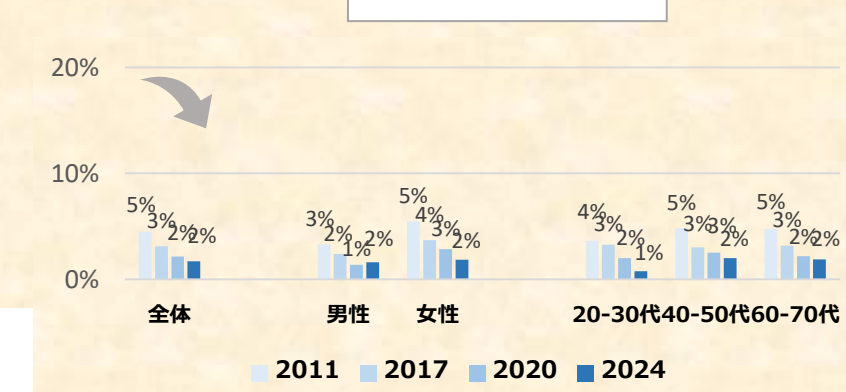
⑤ リフレットの作成・配布

■ 2%程度



⑥ 公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等の開催

■ 5%→2%



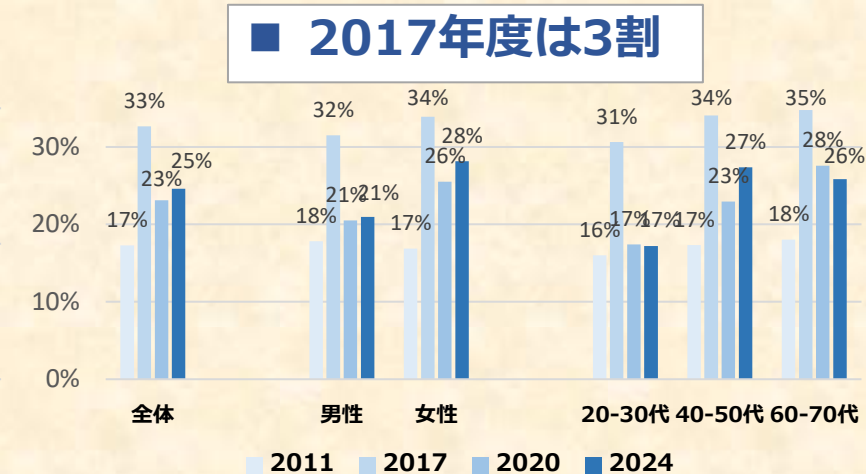
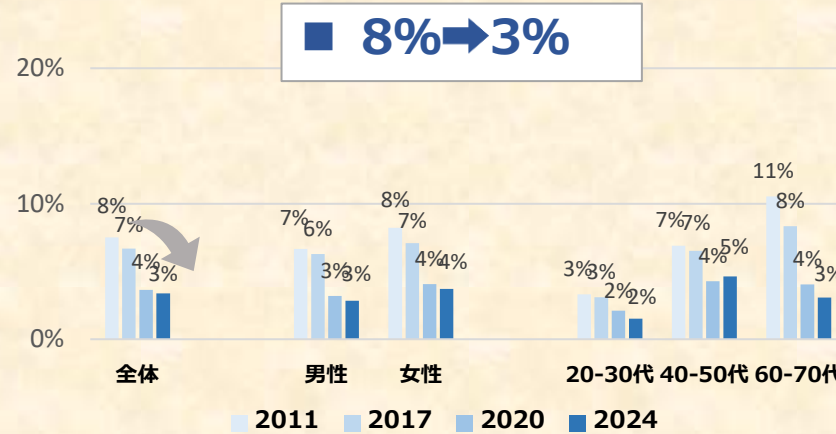
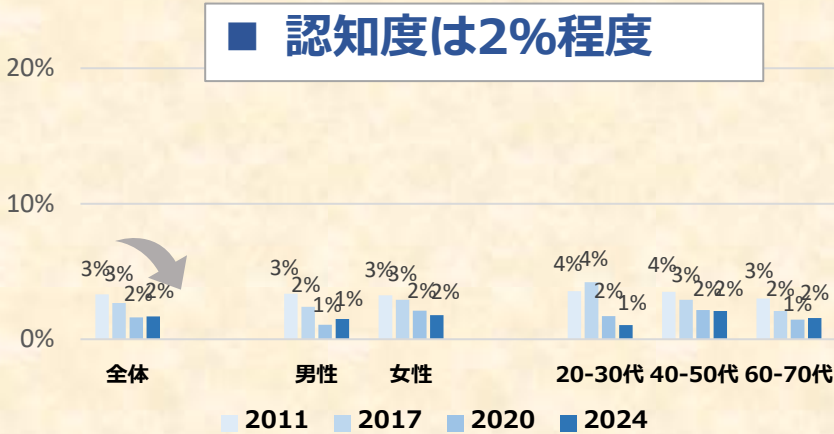
自治体による広報活動の認知度

● 肝炎ウイルス検査の普及啓発、肝炎対策について、地方自治体では以下の取組が行われています。あなたご存知のものをお答えください。

⑦ イベントでの普及啓発、街頭キャンペーン

⑧ 個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨

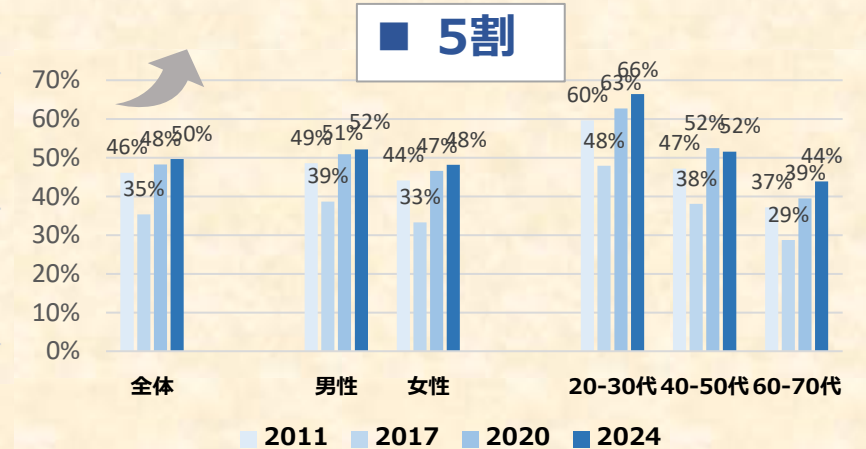
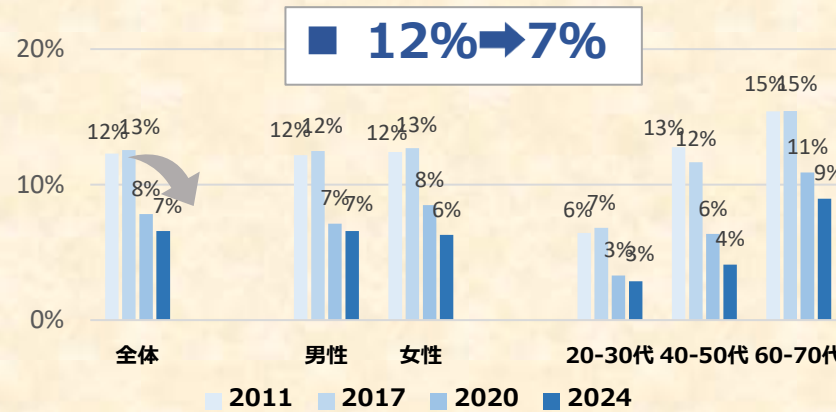
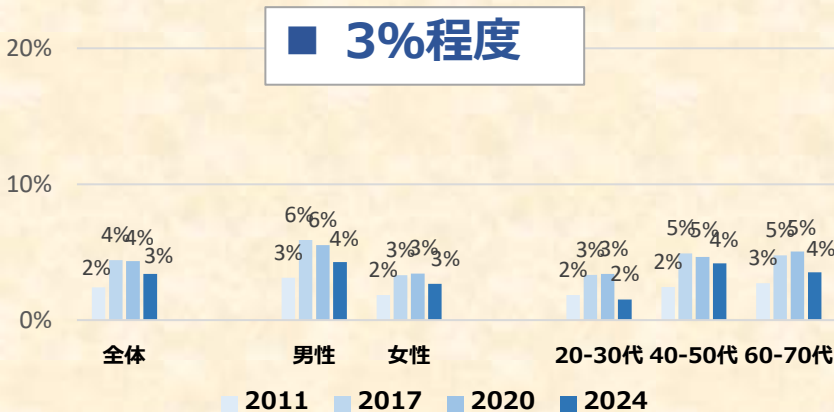
⑨ テレビ広報(ケーブルテレビを含む)



⑩ ラジオ広報

⑪ 新聞広告、折り込み広告

⑫ 上記についてはすべて知らない



結果のまとめ

- 「知って、肝炎プロジェクト」の認知度は約1割にとどまり、2017年の約2割から低下している。
- 検査・治療に対する公費補助制度の認知度も約1割で、減少傾向が続いている。
- 自治体による広報活動の認知度はいずれも数%～1割程度と低水準で、全体として減少傾向にある。
特に若年層では約3分の2（66%）が広報活動を認知していない。